

初段階での戦略骨子 2008年12月  
ブレイン・ストーミングのための検討素材 「国策としての戦略案」

活動理念: 「ハブ化を切り口とした消費喚起と内需拡大、雇用創出(ハブ・ビジネスとハブ・サービスビジネス)」を獲得するための  
法案化を含むノウハウ構築と、その成果・効果を得るために惜しまない、あらゆる活動を行う。

■ 目標: ベストな交易条件の確保=物流コスト・生活コスト低減化、資源・資材の確保  
アジアにおけるハブ・ダイナミズムへの実質的な参画

——「ハブ・ビジネス」としての緊急実施 ⇒ 省庁を横断化した強い政治力・プロデュース力による政策実施  
アジアのハブ核を成す 政府・政府系企業・民間事業者との協働化  
例) Hutchison Port Cheung Kong  
PSA CHANGI Airport 等

国・地域(自治体)は、  
「ハブ強化とこれに伴う  
ハブサービス事業」として提案・参画  
したいとする事業者に対して、  
「新しい制度導入による産業開発」  
へのサポートを行う。

■「国際ハブ戦略基本法(仮称)  
の創設」案  
■「ハブ先進国政府との最高機関  
の創設」及び  
「海外民間事業者を含む  
定期会議の創設」案

必要な行動 :  
① ハブ強化に向け、  
国・地域(自治体)からあらゆる施策の動員と、  
参画事業者へのインセンティブ提供を行う。  
② 後背地開発者に向け、  
良好な投資開発への環境づくりを早急に行う。

相互の  
影響力を重視

——「ハブ・サービスビジネス」としての緊急実施 ⇒ ハブ化に伴って得られる、主に海外の優良な投資の集約と利用  
ハブ拠点の後背地開発・地域開発

■ 目標: 日本の内需・雇用創出のための新産業化

例) 政府系ファンド GIC Temasek 等  
民間 Cheung Kong 等

[ 内需・雇用創出 ]

● ハブ強化に伴っての、ハブ関連施設、後背地都市、地域に向けた、優良な投資の獲得と利用  
新エネルギー開発、金融センター、カジノ複合施設、他

※ ハブ化に先行するシンガポールは、医療、バイオ技術、新エネルギー開発 等による  
「新しい経済への移行」を目標に、ハブ・サービスとしてのカジノ導入を行った。

● ハブ強化に伴う、国内及び地域の新産業おこし、製造業・小売・サービス産業、中小企業等への  
優良な投資利用と共同開発、雇用創出に向けて

● 海外の優良な投資者と起業家の受入れ、同後背地で誕生するビジネスメニューへの  
投資の自由化・円滑化を図るための、「セキュリティ・インセンティブ」の整備検討。

ハブ拠点(港湾、空港、通信、後背地開発等)  
からの新産業化に向けた国策としての戦略

[ 地域・国のハブ強化に向けた  
制度保障と受け皿の準備 ]

イ) 基準・認証、ロ) 関税手続き、ハ) 規制緩和、  
ニ) 人材養成、ホ) 技術保障、  
ヘ) 情報への自由なアクセス、  
ト) 市場及び資金調達への自由なアクセス、  
チ) 紛争仲介 等